

目標管理型の政策評価に係る評価書の標準様式

施策名	目標4-1 国内及び国際的な循環型社会の構築				
施策の概要	循環型社会形成推進基本計画等を着実に施行して国内における循環型社会の構築を図るとともに、3Rイニシアティブに基づいて国際的な循環型社会構築を図る。				
達成すべき目標	循環型社会形成推進基本計画に基づき定められた、資源生産性の向上、循環利用率の向上、廃棄物最終処分量の削減等の目標を達成するとともに、3Rイニシアティブに基づき国際的に3Rを推進することにより、循環型社会の形成をめざす。				
施策の予算額・執行額等	区分	22年度	23年度	24年度	25年度
	当初予算(a)	465,000	640,000	725,000	682,000
	補正予算(b)				
	繰り越し等(c)			(※記入は任意)	
	合計(a+b+c)	465,000	640,000	(※記入は任意)	
執行額(千円)	424,000	589,000	(※記入は任意)		
施策に関する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)					

測定指標	1 資源生産性(GDP÷天然資源等投入量)(万円/トン) ※基準年が平成17年に改定されてGDPで算出。そのため、過去の計画や点検結果とは一致しない。	基準値	実績値					目標値
		12年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	27年度
		24.8	33.7	33.9	37.9	37.4		40.3
		年度ごとの目標値	-	-	-	-	-	-
	2 循環利用率(循環利用量÷総物質投入量)(%)	基準値	実績値					目標値
		12年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	27年度
		10.0	13.5	14.1	14.9	15.3		14~15
		年度ごとの目標値	-	-	-	-	-	-
	3 廃棄物最終処分量(百万トン)	基準値	実績値					目標値
		12年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	27年度
		56	27	22	19	19		23
		年度ごとの目標値	-	-	-	-	-	-
施策に関する評価結果	目標の達成状況	各指標とも順調に推移しており、平成21年度時点で、循環利用率及び最終処分量は目標を達成している。						
	目標期間終了時点の総括	-						

学識経験を有する者の知見の活用	中央環境審議会循環型社会部会において、循環型社会形成推進基本計画の見直しに向けた検討を行った。
-----------------	---

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	「第三次循環型社会形成推進基本計画」:環境省
---------------------------	------------------------

担当部局名	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部 循環型社会推進室	作成責任者名	河本 晃利	政策評価実施時期	平成25年6月
-------	------------------------------	--------	-------	----------	---------